

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【公表番号】特表2017-502725(P2017-502725A)

【公表日】平成29年1月26日(2017.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2017-004

【出願番号】特願2016-536981(P2016-536981)

【国際特許分類】

A 6 1 B 18/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 18/04

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月6日(2017.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

蒸気送り出しシステムであって、

患者の尿道中に挿入されるよう構成された細長いシャフトを含み、

複数の蒸気送り出しポートを備えた蒸気送り出し針を含み、前記蒸気送り出し針は、前記細長いシャフト内に配置されると共に前記細長いシャフトが前記患者の前記尿道内に位置決めされると、前記細長いシャフトから前記患者の前立腺中に全体として横断方向に送り進められるよう構成され、

凝縮液が前記蒸気送り出し針の蒸気送り出しポートを出るようにするよう前記蒸気送り出し針の前記蒸気送り出しポートを介して前記蒸気送り出し針に結合された蒸気発生器を含み、

前記蒸気発生器に作動的に結合された電子制御装置を含み、前記電子制御装置は、

前記蒸気発生器からの蒸気の流れを生じさせ、該流れを前記蒸気送り出し針の蒸気送り出しポート中に通して凝縮液が前記蒸気送り出し針の前記蒸気送り出しポートを出るようにして、

前記蒸気発生器からの1回分投与量の蒸気を前記蒸気送り出し針の前記蒸気送り出しポート中に通して前記前立腺内に投与し、

前記1回分投与量の蒸気を送り出した後、前記蒸気発生器からの前記蒸気の流れを再び生じさせ、該蒸気流れを前記蒸気送り出し針中に通して真空が前記蒸気送り出し針内に生じるのを阻止するよう構成されている、システム。

【請求項2】

前記蒸気発生器は、流体の流れを包囲した発熱体を有する誘導型蒸気発生器から成る、請求項1記載のシステム。

【請求項3】

前記電子制御装置は、更に、前記発熱体のパラメータをモニタして該パラメータを設定値に制御して前記送り出された蒸気の一貫したカロリ含有量を保証するよう構成されている、請求項2記載のシステム。

【請求項4】

前記パラメータは、前記発熱体の温度である、請求項3記載のシステム。

【請求項5】

前記パラメータは、前記発熱体の電気インピーダンスである、請求項3記載のシステム。
。

【請求項 6】

前記パラメータは、前記電子制御装置が前記1回分投与量の蒸気を送り出したときに第1の設定点に制御され、前記パラメータは、前記電子制御装置が前記蒸気の流れを生成したとき及び再生成したときに第2の設定点に制御される、請求項3記載のシステム。

【請求項 7】

前記蒸気の流れは、約0.1mL／分から0.3mL／分までの範囲にある蒸気の流量から成る、請求項1記載のシステム。